

「上小っ子」は本校ホームページでも見ることができます。URL <http://www.city.uenohara.ed.jp/uenoharashou/>

<h1>上小っ子</h1>	<h2>NO.8</h2> <p>上野原市立上野原小学校 発行日：平成28年11月24日 発行者：校長 中込 一雄 TEL：62-3104</p> 
---------------	---

授業改善プラン公開授業研究会開催 ～3年間の研究成果を発表～

「上小っ子」NO3でもお伝えいたしましたが、本校は、一昨年度から3年間にわたり、県の「授業改善プラン実践事業」推進校の指定を受けています。この度、3年間の研究成果を踏まえ、1年生算数、3年生算数、5年生理科の公開研究授業を行いました。授業後に研究会を行い、県内各地より集まっていた先生方と研究成果について確認するとともに、課題についても検討しました。

1年1組算数授業(授業者:齊藤、関戸)

1. 単元「ひきざん」
2. 目標
繰り下がりのある引き算を理解する。
3. 授業の概要
13-9の計算をブロック操作やだんご図を使って理解する授業。
4. 研究会の様子
ブロック操作の方法について様々な意見が出されました。また、ブロック操作やだんご図を書く学習活動の大切さや数直線につながる系統性について確認されました。

3年2組算数授業(授業者:渡辺、豊泉)

1. 単元「□を使った式」
2. 目標
かけ算の場面で分からない数を□として式に表すことができる。
3. 授業の概要
提示されたお話を□を使った式にするという授業。
4. 研究会の様子
お話を式にする過程においてテープ数直線図が効果的であることが確認されました。また、板書の仕方、ペア学習、ノートの使い方が良かったという意見も出されました。

5年1組理科授業(授業者:野田)

1. 単元「ふりこのきまり」
2. 目標
ふりこの周期はふりこの重さによって変わらないことを理解する。
3. 授業の概要
予想した後、3人グループで実験を行い、考察するという授業。
4. 研究会の様子
8つの過程(思い出そう、問題、予想、実験計画、実験、結果、考察、結論)に基づいた授業で科学的思考が深められ、パターン化することで予想や考察がしっかり書けていたという意見が出されました。

研究会では活発に意見が出され、指導主事の先生からも研究内容について高い評価をいただきました。研究会後に、参加者から感想や意見を書いていただきました。その中で「上小職員一人一人が研究に対して前向きに取り組んでいる姿が伝わってきた。」「チームとして研究に臨んでいる職員体制が素晴らしい感じた。」といった意見をたくさんいただきました。

今後、研究会で確認された成果や課題をこれからの授業改善に生かし、確かな学力の育成や生き生きと学べる授業作りに向けて努力していきたいと思います。そして、今学校現場に求められている「アクティブラーニング」(児童が主体的に参加し、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養う授業)という視点からも研究を深めたいと思います。

全国学力・学習状況調査の結果を生かして

平成28年4月19日に全国学力・学習状況調査(全国学力調査)が実施されました。実施学年と教科は、小学6年生の国語・算数、中学3年生の国語・数学でした。本調査の目的は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることなどです。これらの調査結果をもとに児童の学力や学習状況を多面的に分析し、成果や取り組むべき課題について確認しましたのでお知らせいたします。正答率の低い問題については、やり直しを行うと共に同様の問題や過去の基本的な問題を振り返り、今回の課題となった部分につなげていく予定です。

【国語】

昨年度に比べ、漢字の書きの問題の正答率が上がってきています。また、基礎的な問題に比べ活用問題の正答率が低い傾向があり、活用力に課題があるといえます。

【課題】

- ・話に沿って質問を考えたり、自分の考えを書いたりすること。
- ・文章や図から自分の考えを整理して書くこと。
- ・目的や意図に応じた本や文章を選んで読むこと、効果的な読み方を工夫すること。

【算数】

算数Aの問題において、「量と測定」の領域では全国の正答率を上回り、昨年度から、数直線を用いて文章題などに取り組んできた成果が出てきたようです。しかし、「図形」や「数と計算」の領域では、課題があります。また、活用面についても取り組む必要があります。

【課題】

- ・図形の特徴や性質についての理解。
- ・位取りや数の大小関係に関する知識の定着。
- ・自分の考えを条件に合わせて式や文章で説明すること。

12月の予定

日	曜	主な予定
1	木	1, 6年授業参観懇談会
2	金	3, 4年授業参観懇談会
3	土	しめなわ作り (6年希望者)
4	日	
5	月	けやき授業参観懇談会 1年クラブ
6	火	2, 5年授業参観懇談会 1年クラブ
7	水	1年クラブ 1, 6年みんなで遊びの日
8	木	2, 5年みんなで遊びの日
9	金	3, 4年みんなで遊びの日
10	土	小林雅英野球教室
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	集団下校
15	木	5校時日課
16	金	5校時日課
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	ランチテーブル清掃
22	木	終業式 給食最終日
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日 ~1/9
27	火	
28	水	
29	木	年末休業日
30	金	年末休業日
31	土	年末休業日

実りの秋、文化の秋、

10月、11月は「文化の秋」「実りの秋」にふさわしく様々な行事が行われました。10月20日には西原小学校もお招きし、「音楽集会」が行われました。全校児童10名ながらも一人一人一生懸命歌う姿にみんな感心していました。また、今回発表した1年生、4年生、5年生の合奏や合唱も素晴らしい発表でした。26日には**上野原市小中音楽会**が行われ、本校からは4年生が参加しました。今年は「ユーロ」「ぼくらの地球」の2曲の合唱をしました。一生懸命歌う気持ちがぐっと伝わってくる素晴らしい発表でした。11月に入り4日には**芸術鑑賞教室**が行われました。演劇と音楽を交互に実施していますが今年は演劇の年でした。影絵劇団「かしの樹」をお招きして「オズの魔法使い」の影絵をしていただきました。スクリーンに映し出される鮮やかな色彩と自然な動きに見入っていました。14日には校庭の落ち葉掃きをする**グリーン作戦**もありました。16日には**年長児と1年生との交流会**がありました。1年生の音楽発表があったり、じゃんけん遊びで交流したり、とても楽しいひとときでした。そして、24日には、実りの秋にふさわしく1年生が「わくわくさつまいもしゅうかくさい」を開き、ふかし芋を食べたりお店屋さんごっこをしたりします。たくさんの行事が体験できた実り多き秋でした。

音楽委員さんのハンドベル演奏で音楽集会が始まりました。



小中音楽会。文化ホールのステージで一生懸命歌いました。



芸術鑑賞教室では素敵な影絵を見ることができました。



グリーン作戦。全校児童が力を合わせ校庭の落ち葉を片付けました。



年長児との交流会。じゃんけん列車の長い列ができました。



しゅうかくさいに向けて。校庭の畑でサツマイモを収穫しました。



5年八重山学習に向けて第2弾 ～自然写真家中川さんの授業～

5年生は「総合的な学習の時間」で八重山をテーマに学習していますが、都留文科大学の北垣先生の授業に続き、第2弾として自然写真家中川雄三さんを講師にお招きし、野鳥や野生動物の学習をしました。今、中川さんはBSプレミアムのワイドライブの撮影でお忙しい中、来てくださいました。

授業は学級毎に行われ、中川さんが撮影したスライドを映しながら、クマ、カラス、フクロウなど上野原に関わりのある動物の話をしてくださいました。フクロウが水浴びをしている動画や熊がカキを食べる動画はとても興味深かったようです。4校時は学年全員で月見が池周辺のカモの観察もしました。「動物にはそれぞれ役目がある。動物を恐れるのではなく動物のことをよく知り、動物や自然と友達になることが大切」という授業の最後の言葉は、子供たちの心にも強く響いたことと思います。



月見が池の周りでカモの観察もしました。

校長室の窓

以前、東京学芸大学で1年間、環境教育について研究や研修をする機会がありました。海外の環境教育の状況などについて確かめるために、多くの日本人ボランティアが活動しているネパールを訪れました。首都カトマンズでは、学校にも行かず観光客相手に物を売ったり、観光ガイドをしたりする子供たちに出会いました。どこで身につけたのか英語はぺらぺらです。臆することもなく、私に話しかけ自分のPRをしてきました。また、ネパール東部のダウラギリという山の麓の農村にも行きました。農作業は人力か家畜による作業が中心で、戦前の日本の農業のような作業風景でした。

11月の学校集会ではその時に出会った子供たちの話をしました。頭にかけた紐で家畜に与える大きな草の束を背負っている少女たち。屋根と机と黒板だけの学校で一生懸命勉強している子供たち。生活は貧しいですが、みんな生き生きと目が輝いていました。日本のボランティアが育てた森について書かれた看板もありました。日本から、ネパールに行き、ネパールの森を守るために日本人が活躍していることも話しました。

カトマンズや農村で会った子供たちに共通して感じたことは、たくましさで生き生きとした目の輝きです。今教育界では「生きる力」という言葉が盛んに使われますが、まさに「生きる力」を感じさせてくれた子供たちでした。「生きる力」をどう捉え、どう育んでいくのか、私たち大人に課せられた大きな課題です。日本は豊かで恵まれています。ネパールは貧しい国です。でも、そんな中、子供たちは一生懸命働いて、一生懸命勉強していました。集会では、一生懸命勉強して、地域や世界のために活躍できる人になって欲しいと、私の願いを伝え話を終えました。

